

地域で認知症高齢者の見守り力を高める 十和田湖地区認知症高齢者徘徊模擬訓練

10月22日、市地域包括支援センターで認知症高齢者徘徊模擬訓練が行われ、地域住民約70人が参加。十和田湖支所など15カ所にグループホーム職員らが認知症高齢者に扮し徘徊し、参加者はグループごとに分かれ捜索と声掛けの訓練を行いました。

参加した小川徳美さん(87歳)は「優しく、親身になって声掛けを行うよう心掛けました。実際に行くと難しいですね」と、話していました。



モデル徘徊者に優しく声を掛ける参加者。実際に体験することで認知症高齢者を見つけた場合の対応を学びました

伝統工芸を手軽に体験 菱刺しカフェ

11月4日、現代美術館で伝統工芸・南部菱刺しを体験する「菱刺しカフェ」(社)十和田青年会議所主催)が行われ、観光客ら約40人が参加。南部菱刺し保存会(山田友子会長)会員の指導のもと、麻布に草木染の糸を使って花の模様を編み込み、髪飾りなどを制作しました。

友人らと参加した新山史織さん(宮城県仙台市・30歳)は「伝統工芸を体験できる機会がなかったので、文化を知るいいきっかけとなりました」と、話していました。



きれいな花の形をした菱刺しが完成しました

Pick up

合言葉はTrick or treat ! ハロウィン2012 in ストリートフェスタ

10月27日、市中心商店街で「ハロウィン2012 in ストリートフェスタ」(市商店街連合会主催)が開催されました。魔女やお化けに扮した多くの子どもたちが会場を訪れ、ハロウィンパスポートを手に持ちながら、商店街を練り歩き、指定された各店舗で「Trick or treat ! (お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ!)」と声を掛け、お菓子をもらっていました。

ワニの衣装で参加した小笠原慧くん(北園小・2年)は、「毎年たくさんのお菓子がもらえて楽しいです。来年も参加したい」と、笑顔で話していました。

ハロウィンコンテストには、約50組が参加。自慢の衣装で思い思いのポーズをとりながらレッドカーペットを歩き、多くの観客の視線を集めていました。



- 1 2 3 ハロウィンコンテストでポーズをとりながら堂々と歩く参加者
- 4 Trick or treat ! 子どもたちは持ちきれないほどたくさんのお菓子をもらって楽しそうでした
- 5 フェイスペイントコーナーは大人気! ペイントされたお互いの顔を見合ってニコリ
- 6 7 8 商店街は衣装を着た人たちで溢れていました